

全日本ラリー&全日本ダートトライアル最終戦、「ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー」表彰式

## 原口真選手 CMSC 鹿児島 今季初優勝を飾る。 全日本ラリー 第8戦Bクラス



今季初優勝の原口選手の激走と喜びの顔。

全日本ラリー選手権第7戦「'96HELOM RALLY MEETING」では、BクラスでCMSC埼玉の田口幸宏選手が3連勝しシリーズチャンピオンに確定したことは、前号でお知らせしました。

続く最終第8戦「第24回M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ'96」は10月12～13日岐阜県大野郡の約430kmのコースにて開催されました。ミラージュ勢の激戦が繰り広げられているBクラスで、田口選手の5勝目を阻止したのはCMSC鹿児島の原口真選手でした。第1、第2ステージをリードした田口選手でしたが、快走にブレーキがかかったのは、ラリー最大のヤマ場となる第3ステージ。ラリー最長8.5kmのダートの登りとなるSS16で原口選手はベストタイム。土壇場の最終SS19でも田口選手を抑えついに逆転し、今季初優勝を果たしました。田口選手は惜しくも2位でしたが、今季全8戦中4勝で堂々のシリーズチャンプ獲得でした。

### ■ ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー

congratulation!

## ラリー部門：田口幸宏選手 (CMSC埼玉)、 ダートトライアル部門：三枝光博選手 (CMSC岐阜) が受賞。

このたび日本国内・海外のラリーやレースに三菱車で参戦し活躍したドライバーを表彰する「ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー」の'96年の受賞者が決定しました。CMSCクラブ員からは、上記CMSC埼玉の田口幸宏選手がラリー部門で、そしてダートトライアル部門で全日本ダートラAIIIクラス全8戦中4勝をあげてシリーズチャンピオンに輝いたCMSC岐阜の三枝光博選手が受賞しました。おめでとうございます。'97年もご活躍されることでしょうか。期待しています。



▲表彰式での記念撮影。右端が田口選手、右から4番目が三枝選手。

## 全日本ダートラ最終戦。AIVクラスで荒井信介選手 (CMSC群馬)、 AIIクラスで篠田大作選手 (CMSC岐阜) が優勝。

今季最終戦となる全日本ダートラ選手権第8戦「CHINTAIカップDIRT in KANSAI」は、10月13日大阪府堺市「新日鉄堺ダートウェイ」にて計148台が参加して開催されました。会場は直線と直角コーナーが組み合わされたコースで、コーナーからの立ち上がりスピードと旋回性能が問われる設定。前夜の雨でコンディションが心配されましたが、水はけのよいコースで、優勝の行方はドライとなった第2ヒート勝負となりました。

AIIクラスでミラージュ同士の混戦模様から抜

け出したのはCMSC岐阜の篠田大作選手。第2ヒートでただ一人1分44秒台をたたき出し、今季3勝目をマークしました。今季ポイントランクでは2位の成績でした。

AIVクラスではCMSC群馬の荒井信介選手が第1、第2ヒートとも他を圧倒する速さで今季初優勝。荒井選手は3年連続で最終戦を制しています。ポイントランクでは4位となりました。

両選手、来季も期待できそうです。鋭い走りをまた見せて下さい。



▲篠田選手の好調な走り。  
▲最終戦で笑顔の荒井選手。

## 全国CMSC会員の皆様、 明けましておめでとうございます。

皆様、昨年は如何な年でしたか。それぞれ精一杯頑張って充実した年を過ごされたことと思います。昨年は秋田を加えて21支部となり、どんどん充実

しているCMSC。会員総数も700人を超えており、その活躍は目覚ましいものがあります。このようなCMSCの会員であることにクラブ員の皆様は誇りをもってほしいと思います。

今年も、本部そして皆様もCMSCのメンバーであってよかったなと思える充実した年になるよう、お互

いに努力いたしましょう。



1997年 元旦  
CMSC会長 外川一雄

### CMSC栃木 N1耐久レース参戦記

'96年、CMSC栃木では2つの耐久レースにランサー-EVO IIIで出場しました。8月に行われた「筑波ナイター9時間耐久レース」、もう1つは11月に開催された「SUGO500kmスーパーN1耐久レース」です。

まず臨んだのが筑波でした。過去にまともに走れたことはなく、我がクラブ鬼門のレースでした。何回もの練習走行では何のトラブルもなかったのに、いざ本番で30周を過ぎた頃からガス欠症状発生。チームには重い空気が漂ってきましたが、応急処置でレース続行。他車の脱落を尻目に淡々と周回を重ね、終わってみればクラス3位という予想外の成績に、一同、徹夜の疲れも一気に飛んでしまいました。

これに気を良くして、燃料系の対策を施し、次の菅生に臨みました。ここからメカニックの耐久レースが始まりました。前日の練習走行中、エンジントラブ

## チーム全員の“耐久”レース

ル発生。我がチームにはスペアエンジンなどあるはずもなく、思案のあげくクラブ員の車からエンジンを降ろし、さらに耐久仕様のパーツを組み込んでレース車に載せることにしました。予選前日午後2時のことです。菅生から栃木までレース車を搬送。全員徹夜の作業で、車が出来上がったのは予選日の午前8時。急いで菅生に向かい、車検通過はなんと予選開始30分前。予選51台中決勝進出は45台です。我がチームは最後尾ながら何とか決勝進出。メカニック達に感謝せずにはいられませんでした。

翌日の決勝。始まってみれば今までのトラブルは嘘のように快調な走りです。終盤、クラス5位まで順位を上げ、このままゴール出来るかと思っていた108周目。最終コーナー入り口で他車と接触コースアウトし、コースに復帰出来ず無念のリタイア。しかし全員確かな手応えを感じ取り、耐久レースの醍醐味を



実感したレースでした。来シーズンはさらに戦力をアップして'96年を上回る成績を残したいと思います。  
(CMSC栃木 川口法行)

### CMSC愛知 9月29日 山室山ダートトライアル

CMSC愛知では'96年からチーム員にオフィシャルを勉強してもらうため、地域イベントに率先して参加してきました。今回のダートイベントはその中の一戦であり、地域クラブの協力で合同主催の運びとなり、開催できました。イベントは滞りなく終了し、チーム員も何らかの自信と満足を得たと思います。'97年

## クラブ員のオフィシャル修行

は場所が変わり岐阜県に新設されるダートラ場(ダイナランドスポーツリゾート)を舞台に本格的にオフィシャルを行います。予定ですが最終戦は当クラブが主催することになっております。進行にさらに磨きをかけ、イベントを盛り上げ、地域の活性化のお役に立てたらいいと思っています。お近くの各支部の皆様、開催の折には是非お立ち寄り下さい。

(CMSC愛知 小玉憲司)



### CMSC岩手 10月13日 岩手三菱スリーダイヤジムカーナ

去る10月13日、CMSC岩手主催の岩手三菱スリーダイヤジムカーナが開催されました。当日は天候にも恵まれ素晴らしいコンディションのもとでの開催となりました。参加台数も76台と最近の県内のイベントとしては、最も多い台数となりました。

エントリーの中には、レース経験のある方からま

## バラエティに富んだイベント

るっきり初心者の方までおり、参加車両の方もエボIII、ミラーージュをはじめ、フォーミュラ・ミラーージュを持ち込んだ人もいて、大変おもしろいイベントとなりました。競技結果の方はそのフォーミュラ・ミラーージュがオーバーオールをとる結果となりました。

表彰式では恒例となった(?)ジャンケン大会で、石油ストーブなどを競って、大変盛り上がりました。

(CMSC岩手 工藤 守)



### CMSC青森 総会報告

ちょっと早めのクラブ総会&忘年会を11月23日に弘前市内のホテルで開催しました。総会は和やかに進められ、'96年の活動報告、会計報告そして次年度の活動計画も確認されました。

'96年はジムカーナのB地区AIIクラスに出場した久保田明選手が堂々のシリーズチャンプを獲得。CIIクラスの小館久選手も全日本で優勝する等、ジ

## 新年度に大きな期待

ムカーナ部門での大健闘が目立ちました。ラリーではCクラス、ランサーで東北シリーズを走った嶋口中也選手も念願のシリーズチャンプになり、'97年も大いに期待が持てそうです。各選手の走りを支えたクラブ員の皆さんに感謝しております。

さて総会は早めに終了。続けて恒例の忘年会。新入クラブ員の紹介もあり、終始楽しい雰囲気でした。

た。最後に'97年のいっそうの活躍を期して、全員手締めで終了しました。(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)



CMSC仙台11月10日

冬本番ダートトライアル

'96JMRC宮城県ダートシリーズ第4戦「CMSC仙台冬本番ダートトライアル」が、仙台ハイランドにて開催されました。宮城県シリーズ最終戦のこの大会。夜半に降った雨も上がり、天気は快晴。コースは絶好のコンディションとはいえませんでした。98台がエントリー。上位入賞、シリーズチャンプ目指して、熱戦が繰り広げられました。

今回はクロードクラスを設け、7クラスで競技が行われました。三菱車VS他社勢の激突が展開され、うち4クラスでミラージュ、ランサーが1位を獲得しました。大きな事故も無く、競技は無事終了。エントラント、オフィシャルにあたたかい芋煮が振舞われ、皆

# 競技後も盛り上がった最終戦



で暖まりました。

大抽選会では温泉旅館の宿泊券が、オフィシャルを交えてのジャンケン大会では優勝者に現金がプレゼントされるなど、競技終了後も大いに盛り上がりました。今回の開催にあたり、ご支援、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

2月11日に仙台ハイランドで「CMSC仙台耐寒ス



ノートライアル」の開催を予定しております。CMSC仙台初の試みですがクラブ員一同頑張りますので、皆様のご参加をお待ちしております。

(CMSC仙台 相沢葉子)

## CMSC山形 赤羽政幸 ラリーオーストラリア参戦記

まず始めに私の海外ラリー遠征をサポートしていただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。今回は2度目の海外ラリーチャレンジだったので、色々勉強する意味で、マネージャーをニュージーランド人、サービスはオーストラリア人3人、日本人3人というチーム体制でラリーに臨みました。

'96年は異常気象らしくレッキ中から雨が多く、危うくスタックしそうになったりしました。ラリー期間中もずっと雨、雨、雨。ドライコンディションを想定してタイヤの準備をしていたので、ウエット用のタイヤが2セット、しかもホイールとのバランス、サービス間の距離、SSの状況等で思うようにならず苦労しました。しか

# 雨中のラリーを無事完走

し、マネージメントがしっかりしていたのでよかったです。途中、リヤの足回りにダメージを受けたので修理に時間がかかりペナルティを受けましたが、その後は順調でラリーを完走することができました。

ラリーオーストラリアはオーガナイズもしっかりしていて、大勢のボランティアの人達も皆それぞれにラリーを楽しんでいるように見えました。機会があればまた'97年もチャレンジしたいと思います。



フィニッシュを迎えて思わず万歳。

## CMSC大阪 岩下利勝 ラリーオーストラリア参戦記

WRC'96ラリーオーストラリアは「世界で最も美しい都市」と形容される西オーストラリアの州都パースをベースに9月13日から16日の4日間、3ステージで競われました。我々はランサーEVOIIIでグループN部門に出場しました。ラリーオーストラリアの特徴はその滑りやすい路面にあります。「ボールベアリングロード」と言われるパチンコ玉大の丸石が敷き詰められた路面は氷のように滑りやすい上、今回はかつてないほど雨が多く、スタックする程までコンディションが悪くなっていました。

第1ステージは13日18:30、パース市内をスタート。翌14日早朝に本格的に競技開始となり、南の田舎町コリーで折り返してパースに戻る698km(SS11)でした。この日は特に大きなトラブルも無く終了。しかしこの日すでに25台もリタイヤしていました。

第2ステージはパース東南、バニングスの森のステージをメインに460km(SS8)を行いました。この日我々はあまりにスリッピーな路面で、SS12ではパワステホースが外れ、コースオフで左リアドアを立木に当て、数分余りをロス。SS14ではハーフスピンで小さな木の橋で落ちかけ動けなくなり、まさにリタイア寸前。この日は大変な一日でした。

翌16日の第3ステージは402km(SS8)。ここまでの

# 美しい町でのラリー

幸運続きで無事フィニッシュを迎えることが出来ました。パース市内のゴール台に立った時には2人、本当に大きな安堵のため息が出ました。こうして総走行距離1560kmを走り切り、グループN部門16位になったのも日本から来てくれたサービスクルー達やオーストラリア人のサービスクルー全員の強力なバックアップのおかげです。また多くのスポンサーのご支援に対して感謝の気持ちでいっぱい。本当にありがとうございました。'97年もチャンスがあればまた挑戦します。



見事完走。グループN、16位岩下選手の走り。

## CMSC島根 古藤浩美 コトの連続コーナー④





LIIクラス 大阪 小出久美子選手 2位 (全日本3位)



AIIクラス 群馬 倉持直美選手 24位 (全日本6位)



AIVクラス 浜松 伊藤祥充選手 20位 (D地区2位)



LIIクラス 浜松 西川美佳選手 8位 (D地区)



AIIIクラス 岐阜 三枝光博選手 6位 (全日本1位)



AIVクラス 香川 高竹優之選手 21位 (G地区1位)



AIIクラス 岐阜 篠田大作選手 優勝 (全日本2位)



AVクラス 山形 赤羽政幸選手 4位 (全日本6位)



AVクラス 香川 森新次選手 リタイア (G地区2位)



AIIクラス 浜松 相原保雄選手 4位 (全日本3位)



AVクラス 札幌 宝田芳浩選手 9位 (全日本2位)



CIIIクラス 山形 八島功敏選手 13位 (B地区1位)



AIIクラス 広島 佐々木優選手 10位 (F地区2位)



AVクラス 大阪 吉村修選手 11位 (全日本10位)



CIIIクラス 大阪 大竹公二選手 16位 (F地区2位)



AIIクラス 広島 岩根つもる選手 14位 (F地区1位)



AVクラス 岐阜 楠田正文選手 12位 (全日本9位)



Dクラス 広島 河内涉選手 3位 (全日本3位)



AIIクラス 香川 松原宏選手 21位 (G地区2位)

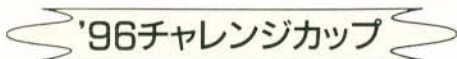


AVクラス 群馬 荒井信介選手 18位 (全日本4位)



Dクラス 大阪 秋間忠之選手 7位 (C地区2位)

# 道北の連覇当確。個人部門は如何に!



終盤に入っても道北の勢いは落ちません。2位も大阪が守っていますが、福島の急追がスゴイ。個人部

門は終盤に実力者がポイントを抑えてトップに立っています。果たして、結果は如何に!?

## ●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
道北	833	1092	291		2216
大阪	609.5	526.5	233		1369
福島	328	423	561		1312
香川	495	472	344		1311
広島	254	523	453		1230
群馬	468.5	452	183.5		1104
帯広	376	353	313		1042
青森	351	454	233		1038
山形	311	220	462		993
浜松	286	224	267		777
岐阜	212.5	247	189.5		649
島根	103	181	160		444
札幌	141	185	83		409
埼玉	100	106	86		292
鹿児島	119	110	56		285
千葉	2	0	233		235
仙台	77	93.5	32		202.5
栃木	52	97	10		159
愛知	70	3	69		142
秋田	-	44	67		111
岩手	40	0	47		87

## ●ラリードライバー部門

鎌田卓麻	道北	220
田口幸宏	埼玉	216
丹羽浩道	千葉	165
鎌田豊	道北	157
細村謙一	群馬	137
奴田原文雄	札幌	137
原口真	鹿児島	135
大沢克行	帯広	108
小林康弘	帯広	107
中島律	広島	89

## ●ラリーナビゲーター部門

細村祐子	群馬	137
野村佐江子	広島	89
朝岡達也	愛知	76
生井重男	帯広	65
川村知恵	道北	64
伊吹浩明	帯広	60
中村洋次	帯広	48
柳館義和	秋田	32
速藤昇	仙台	29.5
対馬隆志	青森	26

## ●ダートトライアル部門

秋間忠之	大阪	701
小出久美子	大阪	515
高竹優之	香川	376
赤羽政幸	山形	321
須田行雄	福島	269
三浦正博	道北	266
伊藤祥充	浜松	256
宝田芳浩	札幌	247
松原宏	香川	244
森新次	香川	239

## ●ジムカーナ部門

小館久	青森	352
久保田明	青森	327
丹羽裕	道北	320
山下亘	道北	310
須田行雄	福島	283
大久保世	道北	282
大泉剛	福島	184
三崎朋弘	帯広	137
佐々木堅太郎	青森	122
平山敦朗	浜松	113

## ●レース部門

小川日出生	山形	186
高橋滋	仙台	118
笠原昌二	山形	106
内堀篤史	栃木	25
吉沼昭彦	栃木	25
川口法行	栃木	25

## ●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス)

但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル

ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ

レースにはミラージュカップ、NI耐久レースを含む

B = それ以外の競技会